

●協働推進フォーラム●

～地方共助社会づくり懇談会in宮城～

東日本大震災からの復興に係る課題及び医療・福祉、教育、子育て、まちづくり、環境等の分野における地域の諸課題に対し、従来のように行政、企業、NPO等が個々に対応していただくだけでは限界があります。

そこで今回、地域における協働を推進し、地域の諸課題の解決に向けた取組を促進するため、宮城県震災復興担い手NPO等支援事業「協働推進フォーラム～地方共助社会づくり懇談会in宮城～」を開催することになりました。よりよい社会を見据え、ともにこれからの地域社会を支える担い手となるために必要なことは何かを、一緒に考えていきましょう。

「共助社会づくり懇談会」とは
地域の活性化を図るとともに、全ての人々が能力を社会で発揮できるよう下支えを進める共助社会をつくるため、政策課題の分析と支援策の検討を行う場として、内閣府経済財政政策担当大臣の下、有識者による「共助社会づくり懇談会」を平成25年4月より開催しています。

日時 平成27年1月28日(水) 13:00～17:00

会場 TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール1 (仙台市青葉区国分町 3-6-1 仙台パークビル 2F)

主催 内閣府、宮城県

プログラム

13:00 開会あいさつ

13:05 基調講演

「協働による市民社会の可能性を探る」

深尾 昌峰氏 (公益財団法人京都地域創造基金理事長)

14:05 — 休憩 (10分) —

14:15 パネルディスカッション

「多様な主体の連携による共助社会を目指して」

【パネリスト】

池田 昌弘氏 (特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長)

小岩 孝子氏 (特定非営利活動法人FOR YOU にこにこの家理事長)

鏡 啓記氏 (特定非営利活動法人あきた地域資源ネットワーク専務理事)

横田 能洋氏 (特定非営利活動法人茨城NPOセンター・commons常務理事・事務局長)

【コーディネーター】

大久保朝江氏 (特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

15:35 — 休憩 (20分) —

15:55 NPO等と行政による交流会

県内のNPO等と市町村等の行政機関職員が「顔の見える関係づくり」を目的に開催します。お互いの活動を知り、地域における課題を共有することにより、NPO等と行政が「協働」して課題解決に向けた取組を実施していく気運の醸成を目指して開催します。

16:55 閉会あいさつ

※プログラムの内容・時間は予告なく変更になる場合があります

プロフィール



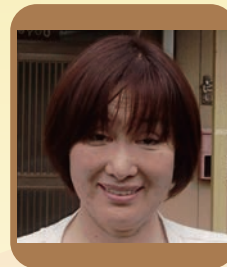
深尾 昌峰氏 (公益財団法人京都地域創造基金理事長/内閣府共助社会づくり懇談会委員)

1998年きょうとNPOセンター設立と同時に事務局長に就任。以来、京都を中心とする市民活動基盤整備に奔走。2001年には日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」を立ち上げ、事務局長も兼務。(現在は副理事長) また2003年から2007年までは京都市市民活動総合センターの初代センター長を務めた。2009年からは、公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任し、市民性を引き出す仕組みづくりに興味がある。2010年4月から龍谷大学法学部准教授に就任。



池田 昌弘氏 (特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長)

社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会、社会福祉法人東北福祉会「せんだんの杜」副社長(特別養護老人ホームなどの施設長を併任)などを経て、2005年7月から現職。現在、宮城県や岩手県の介護等サポート拠点等被災者生活支援員研修の実施や「月刊地域支え合い情報」「隔月刊広域避難者の暮らしを支え合う情報紙」などを発行している。また、宮城県石巻市の委託を受け、グループホーム型で現行制度だけでは支えきれない人に対応する福祉仮設住宅「あがらいん」の運営を受託。「あがらいん」の運営モデルである「ひなたぼっこ」を、仙台市の委託を受け、青葉区で運営。



小岩 孝子氏 (特定非営利活動法人FOR YOU にこにこの家理事長)

蔵の町宮城県村田町出身・明治大学卒業。趣味:愛犬とのんびり旅すること。「みんなで手をつなごう。支え合おう。」と地域福祉に取り組んでいる。また平成24年度・25年度は仙台市との市民協働による「パイロットプロジェクト」事業の代表として「仙台発そなえゲーム」の開発・普及に取り組んでいる。にこにこの家では、介護予防事業(ミニデイサービス)、児童館事業、地域交流事業、震災後に心の輪事業、防災・減災事業を行う。現在は、NPO法人FORYOUにこにこの家理事長、東四郎丸児童館館長、ほっとネットin 東中田の代表、市民協働による地域防災推進実行委員会代表。



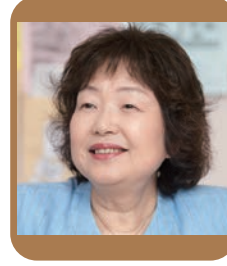
鏡 啓記氏 (特定非営利活動法人あきた地域資源ネットワーク専務理事)

1953年秋田県飯田川町生まれ、秋田市在住。元無明舎出版編集長、現在、NPO法人あきた地域資源ネットワーク専務理事、特定非営利活動法人東北みち会議理事長、東北道の駅連絡会事務局長、羽州街道交流会代表など。秋田県のジオパーク推進活動支援、男鹿半島をフィールドにした新しい公共の実践、全国の半島ネットワークづくり、東北全道の駅の協働事業、北前船や東北の街道調査、文化庁の民俗調査などを行っている。主な著書・共著・撮影に『北前船』、『北前船おっかけ旅日記』、『東北の街道』、『奥州街道』ほか多数。



横田 能洋氏 (特定非営利活動法人茨城NPOセンター・commons常務理事・事務局長/内閣府共助社会づくり懇談会委員)

1967年生まれ。千葉県出身。茨城大学で社会学と障がい者運動に出会う。1991年茨城県経営者協会に入り企業の社会貢献推進などを担当。1996年より茨城NPO研究会を立ち上げ1998年に同会を母体に設立された茨城NPOセンター・commonsに転職し常務理事事務局長を務める。NPOの運営相談を行うほか、行政、企業、労働団体、大学とNPOのコーディネートに取り組む。常磐大学大学院と流通経済大学大学院で非常勤講師を務める。日本NPOセンター理事、NPO法人会計基準協議会事務局長を務める。



大久保朝江氏 (特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事/内閣府共助社会づくり懇談会委員)

1990年よりNPO活動を始め、1999年より杜の伝言板ゆるる編集部の代表、2003年NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事に就任。1997年仙台市民活動支援策検討委員会委員のほか、2004年より10年間、宮城県NPO活動促進委員会を務めたほか、2013年4月より内閣府共助社会づくり懇談会委員を委嘱されている。1998年～2001年の間、3度にわたり、米国デラウェア大学のNPOマネジメント研修に参加。2012年4月より日本NPO学会理事。これまで自治体や行政のNPOに関する講座や講演等で講師を多数務めている。2005年4月よりみやぎNPOプラザのNPO法人設立・運営等の専門相談を担当している。